



JOG-Mag No.1257 ウクライナと日本 ~ 自由世界の「盾」

2022年3月6日 8:00

[PR]

不動産の《売り手市場》継続中！価格上昇エリア多数！

⇒【私の家の価値】も値上がってる？ 今すぐカンタン

<無料査定> <https://i.mag2.jp/r?aid=a621d97aa7df89>

[PR]

■■ Japan On the Globe(1257)■■ 国際派日本人養成講座 ■■

地球史探訪: ウクライナと日本 ~ 自由世界の「盾」

日本とウクライナがN A T Oのような自由主義諸国の集団安全保障体制に加盟すれば、世界平和を維持できる。

■転送歓迎■ R04.03.06 ■ 40,471 Copies ■ 7,739,090Views■

無料購読申込・取消：<http://blog.jog-net.jp/>

★★★伊勢雅臣講演会 3/20(日)新潟県長岡市 ★★★

演題: 講座 ~高校新科目教科書と問題点から 歴史総合教科書各社比較

日時: 3/20(日) 14:00~16:00

会場: 長岡市立中央図書館・講堂(新潟県長岡市学校町1-2-2)

会費: 学生無料、一般1000円

(第2回 3/27(日)14:00~16:00)

麗澤大学大学院特任教授 ? 橋史朗先生

「公共・国語・家庭科科目改訂と問題点」)

主催: 教科書比較講座実行委員会

申込: jimuniigata@gmail.com まで、氏名、連絡先、住所、3/20と3/27の参加・不参加を

■ 1. プーチンの正体を見破っていた 2 人の論者

ロシアのウクライナ侵略で、世界がプーチンの独裁者としての正体を再認識しました。いきなり戦車軍団がウクライナに侵攻し、重要施設をミサイル攻撃するとは前世紀的な暴挙であり、国連総会でのロシア非難決議で賛成141カ国というのも当然です。

我が国では、一時期、ロシアが民主主義国、資本主義国となり、トランプ前大統領や安倍元首相とも仲がよく、中国包囲網に加わってくれるかも、という期待もありましたが、それが幻想であったこと明らかになりました。

しかし、プーチンの正体を見破っていた論者が二人いました。一人は弊誌でも何度も登場いただいた北野幸伯氏。「今回もプーチンが『戦略的』『理性的』判断を下すとは限らない。そこで、ウクライナ侵攻の可能性が出てくる」と指摘していました[北野]。

その根底には「平和に慣れた日本人と、戦国時代に生きるロシア人では、あまりに思考法、発想法が違う」との認

識があります。[JOG(748)]

もう一人、「プーチンは『英雄』ではなく、自分の権力と自国の領土拡張にしか興味ない強欲な『独裁者』である」と以前から「プーチン幻想」を警告していたのが、ウクライナ人の国際政治学者で、日本で活躍しているグレンコ・アンドリー氏です。[グレンコR03、p157]

グレンコ氏も弊誌1121号に登場いただき、ロシアの思想宣伝が作りだしたウクライナの平和ボケが、2014年のロシアによるクリミア占領を招いた、と指摘しています。

北野氏はロシアのスパイや外交官を育てるモスクワ国際関係大学を日本人として始めて卒業し、グレンコ氏はウクライナでロシアの脅威を体験してきた人物です。日本の温室の中で、お花畑思考をしている我々とは全く違った世界が見えるのも当然でしょう。

■2. N A T Oに入っていたら、どんな小さな国も侵略されない

今回、プーチンが要求している事項の一つが、ウクライナをN A T O(北大西洋条約機構)に入れるな、ということです。その要求を通すためには、今回のような武力攻撃も辞さない、というプーチンの姿勢には、なぜN A T O加盟がそれほど大事なのか、ピンとこないのが日本人のほとんどでしょう。

この点は、ウクライナがN A T Oに入ってしまったら、もはや二度とロシアは支配できない、とプーチンが見ていることを示しています。それほどN A T Oは強固な集団安全保障体制なのです。この点をグレンコ氏はバルト三国を例に説明しています。

エストニア、ラトビア、リトアニアのバルト3国はそれぞれ人口が3百万人以下、面積も北海道より小さい国々です。三国ともソ連崩壊までは、その支配下にありました。それぞれロシア、あるいはその飛び地であるカリーニングラードに接しています。しかもエストニアとラトビアは、人口の4分の1がロシア人です。

ユーラシア大陸に囲まれたバルト海はロシアにとって戦略的に重要な拠点であり、当然のごとくこの海を抑えたい。

常識的に考えれば、ロシアにとってのバルト三国はすぐに捕まえられる獲物である。ところが、ロシアはバルト三国に侵略したくてもできない。バルト三国がN A T O加盟国だからである。[アンドリーR03、p42]

N A T Oに加盟しているということは、バルト三国の1国でもロシアが侵略したら、全加盟国が自国が攻撃されたと同様に受け止め、防衛に立ち上がるということです。したがって、ロシアとしては、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツをすべて敵に回して戦う覚悟を決めなければなりません。本物の狂人でもなければできない決断です。

バルト三国と対照的なのが、ウクライナとジョージアです。両国は2008年にN A T O加盟の動きを見せましたが、却下されて参加できませんでした。その半年後、ロシアはジョージアを侵略し、領土の一部を奪いました。さらに2014年、ロシアはウクライナに侵攻してクリミア半島を奪いました。今回の侵攻は、その続きです。

グレンコ氏はこう断言します。

バルト三国よりはるかに大きいウクライナは侵略され、バルト三国は侵略されていない。その相違はまさに「N A T Oに加盟しているかどうか」という一点だけである。つまり、N A T Oに加盟しなければ、それなりの大きさのある国でも侵略される可能性がある。しかしN A T Oに加盟すれば、どんなに小さくても安全が保障されるのだ。[グレンコ、560]

■3. ロシア帝国の支配からソビエト連邦の支配へ

もう一つ、今回のウクライナ侵略で留意すべきは、北野氏の言う「平和に慣れた日本人と、戦国時代に生きるロシア人では、あまりに思考法、発想法が違う」という点です。プーチンに限らずロシア人一般の思考法、発想法が今回のウクライナ侵略に現れているのです。それはウクライナがロシアに侵略収奪された歴史を辿ってみれば、よく分か

ります。

ウクライナは9世紀後半から13世紀半ばまではキエフ大公国、あるいはキエフ・ルーシ国と呼ばれる大国でした。

キエフ・ルーシ公国は、中世ヨーロッパに燦然と輝く大国であった。最盛期のヴォロディーミル聖公の時代には、ヨーロッパ最大の版図を誇り、彼の息子のヤロスラフ賢公は、自分の娘たちをフランス、ノルウェー、ハンガリーの王に嫁がせるだけの力をもち、「ヨーロッパの義父」といわれるほどであった。[黒川、p37]

キエフ・ルーシ公国は13世紀半ばのモンゴルの征服によって滅亡し、その後の「タタールのくびき」と呼ばれる期間に、単一のルーシ民族であったものがロシア、ウクライナ、ベラルーシに分化していきます。その後、ロシア帝国が強大化し、17世紀中葉には、ウクライナを支配するようになります。

地味豊かで気候にも恵まれたウクライナは大穀倉地帯となり、「20世紀初頭では全世界の大麦の43%、小麦の20%、とうもろこしの10%はウクライナで生産されていた」といいます。[黒川、p165] またウクライナ東南部は石炭と鉄との大宝庫であることが発見され、ロシア帝国最大の工業地帯に発展しました

ロシア帝国の一地方として支配されていたウクライナに独立にチャンスが訪れたのは、1917年10月のレーニンが指導するボリシェヴィキ革命の時でした。ロシア帝国の崩壊とともに、「ウクライナ国民共和国」の樹立が宣言され、英仏はこれを承認しました。同時に、ロシア帝国の支配下にあったバルト3国、フィンランドも独立します。

しかし、穀物や石炭、金属などを産出するウクライナを、ボリシェビキは手放すつもりはなく、1921年末まで4年間も壮絶な侵略戦争を続けます。そして、最終的には独立勢力を打倒して、ソビエト連邦の支配下におくのです。

■4. ソ連支配のもとでも悲劇

ソビエト連邦の支配のもとで、ウクライナの苦難は続きます。最大の悲劇は、1932~33年にスターリン支配下でおきた大飢饉です。1931年のウクライナの穀物生産は無理な農業の集団化による混乱が祟って、対前年比65%の1400万トンに落ち込みましたが、ソ連政府は前年と同様760万トンと半分以上をとりあげました。翌32年も同様の凶作が続きます。

農民は政府の調達に抵抗しましたが、

党活動家の一団が都市からやって来て農家の一戸一戸を回り、床を壊すなどして穀物を探した。飢えていない者は食物を隠していると思われた。食物を隠している者は社会主義財産の窃盗として死刑とする法律が制定された。[黒川、p217]

この飢饉でどれだけの餓死者が出たのか、ソ連政府は伏せていますが、300~500万人との推計があります。ロシア本体では飢饉は発生しておらず、またこんな時期にもソ連は通常通り、穀物の輸出を続けていたので、スターリンがウクライナの民族主義を弱めるために意図的に行ったジェノサイドだった、という説もあります。

1939年8月に、独ソ不可侵条約が結ばれ、独ソはポーランドの分割占領に乗り出します。これが第二次大戦の引き金でしたが、それにソ連も加担していたのです。

しかし、ドイツは翌年6月にソ連を奇襲します。スターリンはロシア伝統の撤退・焦土作戦を採用し、ウクライナ住民約380万人と850の工場設備をウラル山脈以西に避難させます。持ち運べない工場施設、鉄道、水力発電所は破壊され、炭鉱は水浸しにされました。

この際に、ウクライナ蜂起軍が立ち上がり、ドイツ軍ともソ連軍とも戦いました。最盛期には10万人の兵士を擁していたといわれています。しかし、ドイツ軍が敗退すると、蜂起軍はソ連軍によって弾圧されました。

第二次大戦では、ウクライナの人口の約6分の1にあたる530万人が死亡し、キエフの中心部の85%が破壊さ

れました。[黒川、p2138]

しかし、蜂起軍は第二次大戦後もウクライナ住民の支持を得て、反ソ・ゲリラ活動を続けました。ソ連軍は蜂起軍の家族、時には村全体をシベリアに流刑にし、1945~49年の間に50万人のウクライナ人が北方へ強制移住させられました。それでも蜂起軍のゲリラ活動は、1950年代を通じて散発的に続きました。

ソ連のような全体主義体制のもとで、外国からの援助もほとんどないまま、これだけ長期間の抵抗を続けたウクライナ人の独立意思の強さには驚かされます。現在のウクライナのロシア軍に対する根強い国を挙げての抵抗も、この精神が継承されているのでしょう。

■5. ソ連崩壊でようやくの独立へ

その後、ウクライナはソ連第一の重化学工業地帯となりましたが、工場・鉱山の排出する汚染物質の垂れ流しで、南部、東部はソ連有数の環境汚染地帯となり、住民の健康被害が深刻になっていきました。

それに輪を掛けたのが、チェルノブイリ原子力発電所の爆発事故でした。広島型原爆500発分の放射能が拡散しましたが、事故の情報が2日間も伏せられていたため、緊急の避難、救助ができず、何万という人々がいまだに後遺症に悩んでいます。

豊かな穀倉地帯であり、工業地帯に発展していたウクライナは、大量餓死といい、環境・放射能汚染といい、ソ連から徹底した収奪を受けていたのです。

1990年に始まったソ連崩壊の過程で、先鞭をつけたのはバルト三国でしたが、91年8月24日にウクライナが独立宣言を発したことで、崩壊を決定づけました。ウクライナはこの日を独立記念日にしています。国旗は上に青、下が黄色の二色旗で、青は大空、黄は麦畑の大地を表しています。

こうしたウクライナの苦難の歴史を辿れば、帝制ロシアも、ソ連も、そして現在のロシア共和国も政体こそ変われ、常にウクライナを侵略し、収奪してきた事が分かります。

■6. 「平和ボケ」で失われた平和

しかし、こうした現実的な歴史認識は、その後のロシアの情報戦により失われ、人々は「これからは平和の時代だ」という「平和ボケ」にかかってしまいました。

ウクライナが独立した時点で、旧ソ連の1500発以上の戦略核弾頭が国内にありました。しかし、核兵器を放棄するようアメリカとロシアの双方から「脅迫に限りなく近い非常に強い圧力」[グレンコR01,1104]がかかりました。

ウクライナの指導者たちはこの要求をすべて呑み、「3年間ですべての核兵器を放棄する」という約束をしました。見返りは「米英露はウクライナの領土的統一と国境の不可侵を保障する」という覚書だけでした。こういう約束だけでは、自国の平和も独立も守れないのは、国際社会の常識です。核兵器が数発でも残っていれば、今回でも、ロシアは安易に手が出せなかったでしょう。

強大な独裁国に対して、軍事力で劣る国が国を守ろうとすれば、独自の核兵器を持つか、NATOのような強固な集団安全保障体制に入るしかないのです。

■7. 日本とウクライナは自由世界の「フロンティア」

我が国もロシアの極東における隣国として、ウクライナほどではありませんが、脅威と侵略を受けています。日露戦争、ノモンハン事件[JOG(355)]、スターリンの仕掛けた日中戦争[JOG(446)]、そして先の大戦末期の満洲・樺太・千島侵攻[JOG(203)]、シベリア抑留[JOG(525)]などです。

さらに近年は、中国がロシア以上の独裁大国としてのし上がってきました。北朝鮮も暴走を続けています。グレンコ氏は、日本とウクライナが地政学的には同じ位置にいるとして、こう指摘しています。

日本とウクライナはそれぞれ、自由世界の「フロンティア」である。つまり両国は、自由・民主主義の文明世界と、独裁主義の非文明世界の境目にあるということだ。[グレンコ、p266]

そして、「日本とウクライナが両国とも巨大な軍事同盟に加盟して強国になれば、間違いなく世界平和の維持に繋がる」と主張しています。具体的には日米同盟を基軸として、オーストラリアやニュージーランドなど太平洋での自由民主主義国で集団安全保障体制を構築し、それとNATOとが連帯ないし合併することです。

私見ですが、これに台湾や東南アジアの民主主義国も入れるべきでしょう。さらにインドも加われば、まさに大西洋、インド洋、太平洋と、ユーラシア大陸を包囲する地球規模のシーパワーの集団安全保障体制となります。その強大な抑止力により、中露北朝鮮などの侵略を押しとどめることができるでしょう。これは現時点において、最も現実的な世界平和への道だと考えます。

(文責 伊勢雅臣)

■リンク■

- ・JOG(1121) 空想的平和主義が侵略を招く～ウクライナの悲劇

ロシアの思想宣伝が作りだした平和ボケからウクライナ国民が覚醒したのは、ロシア軍の侵略が始まってからだった。

http://blog.jog-net.jp/201907/article_1.html

- ・JOG(748) 戦国時代を戦うプーチン～北野幸伯著『プーチン 最後の聖戦』を読む
プーチンはアメリカの覇権に命がけの挑戦状を叩きつけている。

http://blog.jog-net.jp/201205/article_3.html

- ・JOG(525) シベリア抑留

「ここにおれがいることを、日に一度、かならず思い出してくれ」

http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogdb_h19/jog525.html

- ・JOG(446) スターリンと毛沢東が組んだ日中戦争

スターリンはソ連防衛のために、毛沢東は政権奪取のために、蒋介石と日本軍が戦うよう組んだ。

http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogdb_h18/jog446.html

- ・JOG(355) ノモンハン～大平原での日ソ激戦

日本軍は侵入してきた数倍のソ連軍を痛撃して、スターリンの野望を打ち砕いた。

http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogbd_h16/jog355.html

- ・JOG(203) 終戦後の日ソ激戦

北海道北部を我が物にしようというスターリンの野望に樺太、千島の日本軍が立ちふさがった。

http://www2s.biglobe.ne.jp/nippon/jogbd_h13/jog203.html

■参考■ (お勧め度、★★★★：必読～★：専門家向け)

→アドレスをクリックすると、本の紹介画面に飛びます。

- ・グレンコ・アンドリー『NATOの教訓 世界最強の軍事同盟と日本が手を結んだら』★★★★、PHP新書(Kindle版)、R03

<http://www.amazon.co.jp/o/ASIN/B094MW3NQ8/japanonthe01-22/>

- ・グレンコ・アンドリー『ウクライナ人だから気づいた日本の危機ロシアと共産主義者が企む侵略のシナリオ』★★★★、扶桑社、R01

<http://www.amazon.co.jp/o/ASIN/4594082408/japanonthe01-22/>

- ・北野幸伯「全ロシア将校協会が「プーチン辞任」を要求...！キエフ制圧でも戦略的敗北は避けられない」『現代ビジネス』★★★★

<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/92504>

・黒川祐次『物語 ウクライナの歴史 ヨーロッパ最後の大国』★★★、中公新書(Kindle版)

<http://www.amazon.co.jp/o/ASIN/B00LMB05GK/japanonthe01-22/>

■前号「子は国の『大御宝』～少子化の根本原因を考える」に寄せられたお便り

■移民の高い出生率によるフランス文化消滅の危機(Kimioさん)

最後の言葉、大御宝を生み育てる家庭に敬意と感謝の気持ちを込めて、地域や国が助ける、それが「一つ屋根の大御宝を鎮む」道と記されたのは至言と言えるでしょう。

確かにフランスのように手厚い児童手当を与えるのは納得できますが、純粋のフランス人の出生率は、1.5内外です。他方、回教徒国から移住したり、避難民としてフランスに入学して定住したイスラム教徒の出生率は4.5です。

よって、フランス政府がこのまま児童政策を続けると、何時の日かイスラム教徒がフランスのMajorityを占めてしまい、フランス文化の消滅に繋がるのではないのでしょうか。

と申しますのは、「何百万人のイスラム教徒の避難民を受け入れることによって、ドイツ文化は、消滅しつつある」と警告されたのが西尾幹二先生であり、彼の言葉を思い出したからです。

■伊勢雅臣

少子化による労働力不足を移民で乗り越えることの危険を忘れてはなりませんね。

■若者たちを、ひいては彼等が産み育てる子供達を大切にしなければ(正雄さん)

いつも大事なことに、明快な対策を述べてとてもためになるメールをありがとうございました。

今回は特に、家族向けの公的社會支出がGDPの何%かと具体的な数字で、今の政策に欠けていることを指摘されました。「今の子供の医療費が無料とか保育園の費用の援助」などを娘から聞いて、自分達の時より恵まれているなんて安易の考えていましたことをわかりました。

若者達を、ひいては彼等が産み育てる子供達を日本国を支える貴重な財産と考え、もっともっと大切にしなければならぬのですね。

■伊勢雅臣

やはり国際比較によって、自国の客観的な評価ができますね。

■1255号『歴史をYahoo! ニュースの見出しで伝える生き生き学習法』へのおたより

(Yahoo! ニュースの見出しを考える、という卓抜な教育手法を考え、実践されたT.I先生から、中3生徒の感想を送っていただきました)

・僕は今回の歴史総合を通して昔の日本男児の魂や愛国心を強く感じました。昔の人の気持ちを忘れずに引き継いでいきたいです。日露戦争の映画を見たいと思いました。(男子)

・このようにみんなと意見を交換して考えていくのは自分の歴史に対する一方的な見方を止めて、たくさんの考え方が生まれるのでとてもおもしろかった。(女子)

・日露戦争で日本が勝利するまでには、数々の苦難があったということが改めて分かった。ロシアがウクライナに侵攻しようとしている現状と、この日露戦争の頃の時代はロシアの欲深さがあらわれていて似ていると思った。高校では、近代史についてより深く知りたいと思っている。(男子)

■伊勢雅臣より

この主体的・対話的な方法で、自分の頭で考え、自分の心で感じ、結果的に「深い学び」をしていることがよく分かります。これこそが真の歴史教育です。

読者からのご意見をお待ちします。本号の内容に関係なくとも結構です。本誌への返信、ise.masaomi@gmail.com へのメール、あるいは以下のブログのコメント欄に記入ください。
<http://blog.jog-net.jp/>

=====
Mail: ise.masaomi@gmail.com
Twitter: https://twitter.com/#!/ise_masaomi
Facebook: Masaomi Ise
Facebook page: <https://www.facebook.com/jog.page/>
姉妹誌「国際派日本人のための情報ファイル」JOG Wing
<http://blog.jog-net.jp/>
購読解除：

- ・タイトルが「JOG-Mag No.xxx」または「JOG-mel No.xxx」の場合：
=> http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/quit_jog.htm
- ・タイトルが「JOG(xxx)」の場合：
=> http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxhsvm&a_mail=###mail###

◎このメルマガに返信すると発行者さんにメッセージが届けられます
※発行者さんに届く内容は、メッセージ、メールアドレスです

◎Japan on the Globe – 国際派日本人養成講座
の配信停止はこちら
⇒ <https://www.mag2.com/m/0000000699.html?l=vhj1754254>

▽あなたにおすすめのメルマガ【Pickup!】
————— [PR] ———

●日本株投資家「坂本彰」公式メールマガジン
https://regist.mag2.com/reader/Magrdadd?rdemail=3443akira%40gmail.com&magid=0000202500®=pc_footer2&l=vhj1754254
※ワンクリックで簡単に無料登録できます↑

日本株のプロ、坂本彰が見通す「日経平均27,000円時代」その先のシナリオ

『マネーボイス』人気記事トップ5

ロシア制裁で儲かるのは誰か？米国の「いじめ」とプーチンの危険な賭け
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621de279f0e06>

FIREを夢見るレバナス民が虫の息。最低限の資産「6250万円」に届かぬ若者たちがレバレッジをかけて人生滑落
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621de279f3ce0>

ウクライナ侵攻で相場急変、いま投資家が「やってはいけない」3つのこととは？短・中・長期の投資戦略も
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621de27a021b6>

北海道民が嫌う「花畑牧場」、ベトナム人従業員の雇い止め&スト主導者に200万円賠償請求でさらに評判低下
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621de27a040f0>

ジョブ型雇用を恐れる中高年が見逃している日本型雇用の悪習。「社員は家族」が低賃金の温床に
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621de27a077b0>

コロナ後に株価上昇が期待できる3大テーマ「EV」「半導体」あと1つは？-PR-
<https://i.mag2.jp/r?aid=a61ee30b4c59f7>

注目の有料メルマガをご紹介します

●施術家・吉田正幸の「ストレス・スルー術」

「ストレス」は味方になる。15万2千人以上を施術した経験から、豊かな人生を送る「考え方」をお届け
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd38fb8c26&e=3443akira%40gmail.com>

※ワンクリックで簡単にお試し登録↑

●たばぞう投資大学メルマガ

FIREを達成した投資家が語る！現在取り組んでいる事、日々の気づき等、投資のヒントになる情報が満載
<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd38fbaf4e&e=3443akira%40gmail.com>

※ワンクリックで簡単にお試し登録↑

●もりした千里の『辻立ちクイーンは、今日もいく！』

芸能界を経て政財界で活躍中。日々の活動、SNSでは書けないココだけのお話をお届け

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd38fbc6f0&e=3443akira%40gmail.com>

※ワンクリックで簡単にお試し登録↑

人気ライブ配信 [まぐまぐ！Live]

MB×夏野剛 対談【3/15(火)22時】

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd7078159b>

数々のビジネスを手掛け、現在も活躍する二人が大切にしてきた／手放してきたモノとは

並木良和「目醒めのその先へ～QAセッション～」【3/11(金)17時】

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd70784863>

冬至を経て新たなステージへ移行した今、どう生きるのか、読者の質問にお答え

注目の著者 独占インタビュー！

「『しっかり食べて健康になる』という思い込みは捨てましょう」－上野啓樹氏

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd79e3930e>

「組織に依存せず、ひとりで仕事を楽しみ、人生を謳歌する方法がある」－井ノ上陽一氏

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd79e3e8fb>

「ホームページ担当者がすぐに使える改善施策や解析手法を提供します」－小川卓氏

<https://i.mag2.jp/r?aid=a621dd79e42f4d>

—————[PR]—————

投資顧問が実践する「大化け株」の見つけ方。

コロナ後に急成長する3大テーマとは？

<https://i.mag2.jp/r?aid=a61ee30b4c59f7>

—————[PR]—————

■まぐまぐ大賞2021 ついに結果発表

各ジャンルの専門家が勢ぞろい。総合大賞は誰の手に？

<https://i.mag2.jp/r?aid=a61b97547733a3>

注目の新人賞は？いま、このメルマガが熱い！

<https://i.mag2.jp/r?aid=a61b975761c184>